

第73回

報告書

全国レクリエーション大会

in 宮城 2019 2019(令和元年) 9.13 金 ~ 9.15 日



[Welcome Flag]

宮城県内の課程認定校の学生に作成頂いた47都道府県旗です。
東北福祉大学・仙台大学・東北文化学園大学・東北文化学園専門学校・仙台保健福祉専門学校・仙台医療福祉専門学校のみなさま、ご協力ありがとうございました。

目 次

◆ 研究フォーラム 日程・会場一覧	2
◆ 実施プログラム一覧	4
◆ 総合開会式 ごあいさつ	
スポーツ庁審議官 藤江 陽子	5
公益財団法人日本レクリエーション協会 理事長 樋口 修資	6
◆ 総合開会式 歓迎のことば	
宮城県知事 村井 嘉浩	7
仙台市長 郡 和子	8
◆ 総合開会式 来賓祝辞	
宮城県議会議長 相沢 光哉	9
◆ 令和元年度レクリエーション運動普及振興功労者表彰	10
◆ 総合開会式プログラム	11
◆ 交歓のタベプログラム	15
◆ 研究フォーラム	17
◆ 種目別全国交流大会・特別協賛行事	53
◆ 特別行事	73
◆ 閉会式 主催者 大会報告	
公益財団法人日本レクリエーション協会 副理事長 丸山 正	79
◆ 閉会式 主催者 お礼の言葉	
特定非営利活動法人宮城県レクリエーション協会 会長 熊谷 大	80
◆ 閉会式 次期開催県あいさつ	
特定非営利活動法人兵庫県レクリエーション協会 会長 吉井 宏一郎	81
◆ 閉会式 閉会宣言	
特定非営利活動法人宮城県レクリエーション協会 顧問 本多 弘子	82
◆ 閉会式プログラム	83
◆ 大会資料	
協力者一覧	86
協賛者・寄付者一覧	87
大会開催基準要綱	88
大会開催要項	90
実行委員会規約	92
運営委員会規定	95
専門部会規定	96
事務局規定	97
大会役員・実行委員・運営委員等名簿	98
参加者数一覧	100
全国レクリエーション大会のあゆみ	102
製作物・編集後記	107

第73回全国レクリエーション大会 in 宮城2019

研究フォーラム日程・会場一覧

会場：東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

9月14日(土)					
	6階			7階	
	61教室	62教室	63教室	78教室	71教室
10:00					
10:30	 8 障害の有無を超えて 子ども同士が、ともに 楽しみ相互理解に役立つ レクリエーション活動	 24 音楽レクリエーションは 人と人をつなぐ架け橋 ー歌の力で時代、故郷、 人生をふり返り、 共有するー	 15 学生の成長につながる レクリエーション科目の活用方法 ーレクリエーション教育の 有効性を考えるー ＊LR学会×課程認定校	 1 災害時レクリエーションの できることと、健康管理/ 東日本大震災の経験から レクリエーション活動の 必要性和今後の在り方	 11 災害復興支援の実践から 考えるレクリエーションの 価値と可能性 ～被災地に心の元気を 届けるレクリエーション 支援者たち～
11:00					
11:30					
12:00					
12:30					
13:00					
13:30	 9 高齢者の心には はたらきかける 音楽レクリエーション	 27 笑って歌ってアイデア 満載！介護予防レク講座	 2 実家が東松島市のおのくん (人と人の繋がりが支え合う ことで18万人へ)	 20 レクリエーションの 価値を高め、効果的に 教授するための 研究発表 2	 12 被災地に広がった 「心があたたか！ 笑顔満載の レクリエーション」
14:00					
14:30					
15:00					
15:30	 10 初めての研究発表 ～研究レポートの まとめ方～ ＊福祉レク×課程認定校	 26 レクリエーションソングの 原点に立ち返る ～子どもから高齢者まで楽しめる 歌遊び、手遊びを皆様と共に～		 17 参加者(障がい者を含む)に応じた スポーツ・レクリエーション 活動の工夫と実際	
16:00		 35 『チランのゴミ箱』を 使って楽しく遊ぶ支援方法 ～介護の現場ですぐに使える、心温 まるレクリエーションの支援法～			 13 心を元気にする アイスブレイキング、 ホスピタリティとは？ ～新カリキュラムに対応した 実技をみなさんと一緒に ブラッシュアップ～
17:00					
17:30					
18:00					

9月15日(日)					
	6階			7階	
	61教室	62教室	63教室	78教室	71教室
10:00					
10:30	 7 「サバ・メシ」 ＝サバイバル・メシ 災害時に簡単においしく 作れる非常食	 34 癒し・癒され・患者さんとの 楽しい時間ー介護療養型医療病棟 でのレクリエーション活動ー		 18 スポーツ・イン・ ライフの実現！ 年齢や性別、障がいの 有無に関わらず誰もが 楽しめる元気アップ・ プログラム!!	 21 学生の学びを深める レクリエーション 授業情報交換会 課程認定校教員向け セッション
11:00		 32 ～いつでも気軽に自分で行える 健康延伸～あっと驚く猫背、 骨盤矯正ストレッチ「中指の不思議！」			
11:30					
12:00					
12:30					
13:00					
13:30					
14:00					
14:30					
15:00					
15:30					
16:00					
16:30					
17:00					
17:30					
18:00					



宮城企画



日本レク協会



福祉レクネット



レクコーディネーター



障がい者スポーツ / 全国スポーツ推進委員連合



公募



レク課程認定校



余暇開発士会



LR学会

企画別アイコン →

申し込み番号 →

セッションタイトル →



3

車椅子
レクダンス

9月14日(土)

7階

	72教室	73教室	76教室	77教室
10:00	 30 まず楽しい、益々ハマる、 マス目レク 紙・ペンあれば、スグできる	 22 評価高まり、 広がり見せる 健康スポレクひろば	 6 東北地方で生まれた 木地玩具“伝統こけし” に触れる絵付け体験 (遠刈田系・鳴子系こけし) 13:00～再開	 16 「共生社会」を 創りだすために 「協働」しよう！
11:00				
11:30	 31 笑いを使った 心と脳を元気にする 「レクリエーション・トーク術」 「楽しく 笑って 健康に！」			
12:00				
13:00				
13:30	 14 余暇マイスター大集合 新時代を捉えた新たな 余暇支援ソフトの発表	 3 車椅子レクダンス	 6 続き	 19 レクリエーションの 価値を高め、効果的に 教授するための 研究発表1
14:00				
15:00				
15:30				
16:00	 28 GWT名画が語る ～名画をととして自分と 他者に向き合う～	 5 東日本大震災における 健康支援と レクリエーション “仙台大学・健康づくり 運動サポーターの事例より・ 備えあれば憂いなし”	 25 身近なものでレク・ アクティビティあれこれ	
16:30			 33 障がいのある方と ない方とのレクは地域を救う！ すべては人のつながりから	
17:00				
18:00				

9月15日(日)

7階

	72教室	73教室	76教室	
10:00	 23 知ろう！活かそう！ レクリエーションのひみつ ～レクリエーション・ サポーター登録制度を 活用して仲間の輪を広げよう～	 29 復興を支える音楽レクリエーション ～東日本大震災と原発事故によって避難を 余儀なくされた避難者の元気づくりと 絆づくりに、音楽レクリエーションは どのように役立ったか～	 4 東日本大震災・仮設住宅 でのレクリエーション 活動の効果検証 ～宮城県山元町で 実証された、 レクリエーション活動～	
11:00				
12:00				

よぐ ござったなや

宮城をいっぺえ 楽しんでいってけろ

開催行事一覧

地 域	会 場	プログラム
仙台市	東北福祉大学仙台駅東口キャンパス	研究フォーラム（14・15日）
	仙台市勾当台公園「いこいのゾーン」	みんな笑顔復興レクパーク（14日） ニュースポーツ体験、食の広場、キッズステージほか
		特別行事「仙台 政宗 伊達な街ウォークラリー」（14日）
	カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）	3B体操（14日）
		インディアカ（15日）
	元気フィールド仙台（宮城野体育館）	レクリエーションダンス（13日）
		日本民謡（14日）
		フォークダンス（15日）
	若林体育館	スポーツチャンバラ（15日）
	シェルコムせんだい （仙台市屋内グラウンド）	ティーボール（14日）
		クリケット（15日）
	青葉体育館	レクリエーションボールルームダンス（14日）
岩沼市	岩沼市総合体育館（ビッグアリーナ）	パドルテニス（14・15日）
		ニュースポーツ体験
川崎町	みちのく杜の湖畔公園北地区 風の草原	フライングディスク（14日）
多賀城市	多賀城市総合体育館	ユニカール（15日）
	仙台港多賀城地区緩衝緑地公園	タッチラグビー（14日）
		ターゲット・バードゴルフ（15日）
利府町	セキスイハイムスーパーアリーナ （グランディ・21）	キンボールスポーツ（15日）
大衡村	おおひら万葉パークゴルフ場	パークゴルフ（14日）
石巻エリア	石巻市日和山公園	感謝！！『あばいんツアー』3.11 メモリアル 小さなバス旅（14日）
	東松島市松島自然の家	
	女川町シーパルピア女川	

総合開会式

ごあいさつ



スポーツ庁 審議官

藤江 陽子

まずあいさつに先立ち、九州北部の大雨そして台風によって、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げるとともに、皆様の安全と、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、本日ここに、第73回全国レクリエーション大会が「ありがとう 復興進む伊達のまち。みんなのチカラ レクぢから。」のスローガンの下、全国から多くの皆様方に御参加いただき盛大に開催できますことを心から感謝申し上げます。

いよいよ東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで一年をきりました。スポーツ庁といたしましては、大会の成功はもちろんのこと、大会を好機として、生活の中に自然とスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ」という姿が実現することを目指し、スポーツを通じた健康増進などの施策に取り組んでいるところです。

なかでも、子どもから高齢者まで生涯を通じて、運動やスポーツ・レクリエーションに親しむことにより健康を維持増進することは、非常に重要なことであると考えております。

今日から3日間、全国からお集まりの皆様方におかれまして、スポーツ・レクリエーション活動を体験し、理解を深めるとともに、地域の方々そして全国の仲間と交流の輪を広げて、今後とも豊かで活力のある地域づくりに取り組まれることを大いに期待しております。

結びに当たりまして、本大会の開催のために、御尽力をいただきました公益財団法人日本レクリエーション協会、宮城県、県内各市町村の皆様をはじめ、関係の皆様方の御協力に心より御礼を申し上げまして、御挨拶といたします。それでは皆様これから3日間どうぞ大いに楽しんでください。ありがとうございました。

ごあいさつ



公益財団法人
日本レクリエーション協会
理事長

樋口 修資

このたび、「第73回全国レクリエーション大会in宮城2019」が、今日から3日間、仙台市をはじめ、関係市町の御協力を得て、開催されるはこびとなりましたことはご同慶の至りであります。

また、本日は、全国から、このような多くの方々の御参加を得ましたことも、主催者としては心より感謝申し上げます。

スポーツ庁からは藤江審議官のご出席を賜り、只今御挨拶をいただきました。ありがとうございました。

「ありがとう 復興進む 伊達のまち。 みんなのチカラ レクぢから。」のスローガンにある通り、今回の大会のテーマは「復興」です。東日本大震災の発災から8年6か月が経過した今、宮城県にて全国レクリエーション大会を開催できますことを、心からうれしく思います。東日本大震災が発災した時、宮城県など被災県を中心とする多くのレクリエーション関係者が避難所を訪ね被災者を元気づけていただきました。そして、その支援活動は仮設住宅でも行われ、現在も復興住宅の集会所などで続けられています。

本大会の研究フォーラムは35のセッションが用意されています。これらのなかには、実際に行った支援活動の効果を検証するものや、8年間続けられてきた音楽レクリエーションの体験、その後の熊本地震での活動事例など、これまでの復興支援で培ったノウハウを伝えるセッションが数多くあります。また、津波による甚大な被害から復興する石巻市、東松島市、女川町を巡る特別行事もあります。

本大会では、12の種目別全国交流大会、7種目の特別協賛行事が行われるほか、杜の都を巡るウォークラリーやニュースポーツ体験コーナー、「みやぎ・せんだい食の広場」などの特別行事も行われます。全国から参加された皆様には、それぞれの会場をお回りいただいてこの大会をお楽しみいただくとともに、思い出に残る経験を重ね、これを宮城のお土産にさせていただきたいと願っています。

レクリエーションの目的は、「心を元気にすること」です。大会を通して様々な活動を仲間と共に楽しみながら皆様自身が元気になっていただくこと、そして、皆様が宮城県内を巡り、様々な交流を創りだすことによって県民の皆様も元気になることが、大会を主催する私たちの願いでもあります。

最後に、今大会の開催に当たり御尽力を賜りましたスポーツ庁、宮城県をはじめ関係市町村の皆様には厚くお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

歓迎のことば



宮城県知事

村井 嘉浩

全国から多くの皆様をお迎えし、「第73回全国レクリエーション大会in宮城2019」が、「ありがとう 復興進む 伊達のまち。みんなのチカラ レクぢから。」のスローガンのもと、宮城県で開催されますことをお喜び申し上げますとともに、皆様の来県を県民を代表し心から歓迎いたします。

また、この度、レクリエーションの普及・振興に御尽力された功績が認められ、レクリエーション運動普及振興功労者として表彰された皆様に、心からお祝い申し上げますとともに、長年にわたる活動に対し、改めて敬意を表します。

本県では、東日本大震災からの復旧・復興に取り組むとともに、「スポーツを通して活力と絆のあるみやぎを創ろう」という理念のもと、すべての県民が気軽にスポーツやレクリエーションに親しむことのできる環境づくり、スポーツを通じた地域の仲間づくり、さらには超高齢化社会の到来に向けた健康寿命の延伸を目指した取り組みも推進してまいりました。

このような中、本大会の開催により、多くの県民がレクリエーション活動に触れ、全国各地からお越しの皆様と交流が行われますことは大変意義深いことであり、また、東日本大震災の際、多くの温かい御支援をいただいた全国の皆様に復興の様子を御覧いただく良い機会になると考えております。

県外から参加されました皆様には、この機会に是非、多様な魅力に富んだ県内各地を訪れ、宮城県の豊かな海・山・大地が育む「食材王国みやぎ」の味覚を十分に御堪能いただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に御尽力いただきました関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と、伝統あるこの大会がますます発展されることを祈念いたしまして歓迎のことばとさせていただきます。

歓迎のことば



仙台市長

郡 和子

皆様、こんにちは。本大会の大会名誉副会長を仰せつかっております、仙台市長の郡和子と申します。

ようこそ、「杜の都・仙台」にお越しくださいました。令和初となる本大会が、本市で開催されますことは誠に光栄であり、全国各地から多くの皆様をお迎えできますことを大変うれしく思います。仙台市民を代表し、心より歓迎申し上げます。

東日本大震災から8年半が経過いたしましたがお陰様で、本市を含む被災地は、一步一步、復興を目指して歩みを進めることができいております。全国の皆様からいただいた多くのご支援や温かい励ましのお言葉に對しまして、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、レクリエーションは、日々の暮らしに元気を生み出す力を持っておりますことは、皆様御存じのとおりかと思えます。震災後の様々な困難の中におきましても、レクリエーション活動による楽しさや快さは、心や身体の健康はもとより、自然な笑顔や人と人とのふれあいや喜びをもたらし、生きる力、絆をはぐくむ力、未来へ進もうとする力をもたらしてくれました。

このようなレクリエーションが持つ力を、全国から御参加の皆様との交流・親睦を通して、より力強いものにするとともに、その魅力や素晴らしさを更に広げ、新しい時代へとつないでいけるような大会になりますことを願っております。

また、折角の機会ですので、御参加の皆様には、涼やかな風が心地よいこの季節に「伊達のまち」が誇る豊かな自然や景観、多彩な食文化などを存分に満喫していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に向け、御尽力を賜りました公益財団法人日本レクリエーション協会をはじめとする御関係の皆様に対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。本大会の成功と御参加の皆様の御活躍を心よりお祈り申し上げまして、歓迎の御挨拶といたします。

来賓祝辞



宮城県議会議長

相沢 光哉

本日、「第73回全国レクリエーション大会in宮城2019」が、ここ宮城県で開催されるに当たり、宮城県議会を代表いたしまして、一言お祝いを申し上げますとともに、全国各地より宮城県へお越しくださいました皆様方を心より歓迎いたします。

始めに、本大会の開催に当たり、運営や準備などに御尽力をいただきましたレクリエーション協会の皆様をはじめ、関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

また、この度の御功績により表彰の栄に浴されました方に対して、心からお喜び申し上げますとともに、これまでの御尽力に敬意を表します。

さて、東日本大震災から8年6か月が経過し、この間、全国のレクリエーション協会の皆様をはじめ、多くの団体や個人の方から多大なる御支援と御協力をいただきました。

ここに改めて厚く御礼申し上げますとともに、本日、こうして皆様をお迎えし、「ありがとう 復興進む 伊達のまち。みんなのチカラ レクぢから。」のもと、本県の復旧、復興を感じていただく機会を得ましたことを大変嬉しく思っております。

現在、本県では復興の完遂に向けた施策を推し進めるとともに、誰もが生涯にわたり、スポーツやレクリエーション活動に親しみ、充実した生活を送ることのできる社会の実現に向け、様々な取り組みを推進しているところであります。

御参加の皆様方には、心と体を元気にするレクリエーションの素晴らしさを存分に味わっていただき、全国の仲間や県民の方々と大いに親睦を深めるとともに、次の世代にもレクリエーションの魅力を伝えていただきたいと存じます。

結びに、大会の開催に御尽力いただいた関係者の皆様へ、改めて深く感謝申し上げますとともに、大会の御成功と御参会の皆様方の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。